

沖縄カトリック中学高等学校
学校通信

野ばら 4月号

発行
沖縄カトリック中学高等学校
〒901-2215
宜野湾市真栄原3-16-1
TEL098-897-3300
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>
2013年4月5日



希望とはひたすら待ち望むこと

校長 夏見隆晴

4月は、希望に胸を膨らませた若者がそれぞれの学校で入学式に臨みます。わたしたちの学校でも、4月6日の入学式で中学1年生と高等学校1年生が、それぞれ新しいスタートを切りました。新しいスタートといっても、本校の場合はほとんどの中学生は同じ敷地内の小学校からの入学生であり、高校生にいたっては中高一貫の学校に数名の新しい友人を迎えてのスタートというわけですから、新鮮味という点では欠けることになるかもしれません。それだけに、1年生と4年生になる皆さんには、他校生には無い一味違った希望を、これからの自分の生活の中で創りあげていってもらいたいと望んでいます。

ところで聖書には希望について、次のような記述がみられます。「見えるものに対する希望は希望ではありません。現に見ているものをだれがなお望むでしょうか。わたしたちは、目に見えないものを望んでいるなら、忍耐して待ち望むのです。」(ローマの信徒への手紙8章24～25節) そうです、本当に希望と呼べるものは、わたしたちの小さな目で見えるようなものではないのです。自分が希望だと思っているものについて、今一度考えを巡らしてみましよう。もしかしたら、みなさんが希望だと思っていたものの上に、霞がかかってきたかもしれません。それはそれでよいのです。もし希望が、本当に希望と呼ぶにふさわしいものなら、そんなに簡単に手に入るものではないからです。3年でも6年でも、じっくり腰を落ち着けて、希望の方から正体を現すのを待ち望む態度で構えていたほうが賢明であると言えるでしょう。

だいたい世の中というものは、目に見えるものがすべてではないと考えておいた方がよいのです。むしろ、目に見えるキラキラしたものに対しては、疑いの目を持って臨んだ方が間違いが無いと言っても良いかもしれません。わたし自身も若い時に、いろいろな希望を持っていたことを、今は懐かしく思い出しています。そして、そのほとんどが今日に至るまで実現していませんが、だからといって今のわたしが不幸であるかという、決してそんなことはありません。むしろ、今のところ、わたしの人生は恵まれたものであったと感謝さえしております。わがままなわたしを忍耐強く支えてくれた多くの卒業生たちに支えられた幸せは、主イエス・キリストからいただいたものと信じております。

でも神様はわたしに良いものをくださるのだと信じてひたすら待ち望むことが、どれだけ大変なことであるかということは、このわたしにもわかります。しかしわたしたちは、目に見えるものだけがすべてではないと信じて疑わないこと、さらに今は目に見えないけれども忘れてはならない大切なことがあって、それがいつの日か現実となって目に見えるかもしれないと信じて待ち望むこと、それが希望であると考えることが大切なのです。

今こそ建学の精神を

教頭 二俣隆則

今日、始業式を迎えました。新入生も明日の入学式の練習のために登校しました。生徒達は前年度の反省と共に新たな決意を抱き、新しい1年のスタートを切りました。

私は年度始めであるこの時期にこそ、建学の精神について再度しっかりと見つめ直す必要があると感じています。

『「人は父なる神によって造られた兄弟姉妹である」というカトリック的世界観に基づいて、神を敬愛し、隣人を愛する優れた道德心と高い知性を備えた自主自立の「人づくり」を目指します。』これが本校の建学の精神です。中1の宗教の時間に詳しく学びますし、学級でも事あるごとに生徒手帳に記載されているこの建学の精神を読み合わせます。私は、特に冒頭の「人は父なる神によって造られた兄弟姉妹である」というカトリック的世界観を最も大切にしなければならないことだと捉えています。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ3:16) ここで言う「世」とは全てのもの、特に人間を指します。神様はそれほど私たち人類を愛してくださっています。私たちは真の兄弟姉妹のように、お互いを理解し、助け合い、愛し合う存在となるべく造られました。兄弟姉妹という関係は、つまらないことではよく喧嘩もしますが、本当に困っている場合には、当然のように優しく手を差し伸べます。転んで泣いている弟や妹を見て気にかけない兄や姉はいないでしょう。ましてや血が出ている傷口に塩を塗る兄や姉はいません。おやつを取り合いをしても本当に食料が乏しい究極の事態(戦争や災害時など)には、お互い分け合って食べるのが兄弟姉妹だと信じます。実際に戦時中そうであったと戦争を経験した実母からも聞いています。

しかし、いくらそんな兄弟姉妹でも大勢いると、時には馬が合わなかったり、もめることがあります。そんな時こそ「人は父なる神によって造られた兄弟姉妹である」を思い出して欲しいのです。決して兄弟姉妹に深手を負わせるわせるようなことがあってはならないのです。

それぞれの学年は、本校での残りの学校生活を今のクラスメイトと過ごします。学校生活を楽しく充実したものにするためにも「建学の精神」を忘れず、神のみ旨に合った生き方を学んで欲しいと願っています。

ご入学、ご進級おめでとうございます。そして、ご復活おめでとうございます。



教員紹介

学年担当紹介

	担任	副担任	学年補佐	
中1 A	譜久村明美	仲村俊也	金城 円	ウィンフィールド・ハリ
中2 A	知念和代	竹田 充	知念秀憲	國吉瑠美
中3 A	Duncan 啓子	武内篤史	石垣真秀	上地かやの
高1 A	本村直樹	枝松ひとみ	金井哲也	
高2 A	金城洋樹	天久美穂子	渡名喜幸美	
高3 A	佐野聡史	友寄加奈恵	真栄里賢治	安里満人

4月1日就任

国語	向井洋子
英語	弘中わかな

3月31日で退任された先生
英語 與古田まり子

これからのご活躍をお祈りしています。



4月の予定

日・曜日	行事計画
6日(土)	入学式 高校教科書販売 個人写真撮影(中2・3)
8日(月)	学級指導 PUP① 三計測
9日(火)	授業開始
10日(水)	個人写真撮影(中1)
11日(木)	内科・耳鼻科検診 15時～
13日(土)	委員会・部活動紹介 新入生歓迎会
15日(月)	高1宿泊研修 ～16日(火)
17日(水)	諸検査・尿検査(～19日まで) ※完全下校16:30
18日(木)	内科・耳鼻科検診15時～
20日(土)	入学感謝ミサ 総合 PUP② 年度開始説明会 学年懇談会 保護者総会
22日(月)	胸部X線(高1) 諸検査もれ者検診
24日(水)	全国学力調査(中3) 委員会
25日(木)	内科・耳鼻科検診15時～
27日(土)	総合学力記①6 SS①5、4 学力推移① 1～3
30日(月)	4/27振替家庭学習



「見えるものに対する希望は希望ではありません。現に見ているものをだれがなお望むでしょうか。わたしたちは、目に見えないものを望んでいるなら、忍耐して待ち望むのです。」

(ローマの信徒への手紙8章24～25節)